

# あんげろす

良くなりたいか — ヨハネ 5 : 6

大勢の病人や身障者が一つの池を取り囲み、水を見つめている。水が動いたときに一番先に水に入った者は癒される、人々はそのように信じていた。

この光景から私が感じるのは、救いの希望の明るさではなく、陰惨さでしかない。なぜなら、自分が癒されることは他者の排除を意味し、水に入れる可能性は、病が軽く身動きが容易であるか、手助けしてくれる人がいるか、いずれにしても何らかの余裕のある者に限られるからだ。必要とする者ほど救いは遠くにある。

38年間苦しみ続けてきた孤独な男が救われたのは、「良くなりたいか」の一言に頷いたからだ。希望の単純な表明。明学のさまざまな改革の実情を思う。私たちは本当に良くなりたいか。

真崎 隆治

第 9 号

1995. 3

